

補助事業番号：19-1-006

補助事業名：平成19年度 自転車競技の振興補助事業

補助事業者名：財団法人 日本自転車普及協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 実施内容

#### ア. ツアー・オブ・ジャパンの開催に関する事業

自転車を通じて青少年の国際交流と国民体育の向上に寄与するため、国際自転車競技連合（U.C.I）公認ステージレース「第11回ツアー・オブ・ジャパン」を平成19年5月に海外8チーム及び国内8チームを招聘し、大阪・奈良・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京の7ステージにおいて開催したほか、同レース開催期間中に市民競技者の育成のため、「ツアー・オブ・ジャパン市民ロードレース」を併せて開催した。また、今年度の反省および来年度の開催について協議するため、各ステージ関係者との委員会を実施したほか、ホームページ開設に係る作業を実施した。

#### イ. 自転車競技等の広報活動に関する事業

「自転車月間」及び「ツアー・オブ・ジャパン」の周知浸透を図るため、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等を活用した広報活動を展開した。

### (2) 成果

#### ア. ツアー・オブ・ジャパンの開催に関する事業

自転車月間を盛り上げるため、サイクルスポーツの中で一般大衆に最も人気のあるサイクルロードレースを、大阪・奈良・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京の7会場で、UCI公認ステージレースとして実施し、国民のサイクルスポーツへの関心をさらに高めるとともに、自転車利用全般にわたる理解を深めた。また、ツアー・オブ・ジャパンを円滑に実施するために、実行委員会等の会議を行い、次年度大会のコース設定等を行った。

#### イ. 自転車競技等の広報活動に関する事業

ツアー・オブ・ジャパンに関し、新聞、テレビ等を通じて全国的に広報を行うことにより、ツアー・オブ・ジャパンの一般への浸透を図り、もって国民のサイクルスポーツへの理解、認識を深めた。

### (3) 今後予想される効果

#### ア. ツアー・オブ・ジャパンの開催に関する事業

ツアー・オブ・ジャパンの実施により、国民の自転車についての関心を呼び起こすとともに、自転車のスポーツ性への認識が高まり、サイクルスポーツの競技人口の増加が期待できる。また、次年度のツアー・オブ・ジャパンの開催にあたり、国際自転車競技連合規則に適合した、より高度なコース設定が出来るものと予想される。

#### イ. 自転車競技等の広報活動に関する事業

新聞、テレビ等を活用した広報の結果、ツアー・オブ・ジャパンがより一層浸透し、自転車のスポーツ性に対する一般の理解が深まるとともに自転車競技人口の増加が期待できる。また、テレビによる番組提供等により、広く自転車競技のスポーツ性、娯楽性がPRされ、今後より一層のサイクルスポーツの普及等、自転車競技の振興が予想される。

## 2. 本事業により作成した印刷物等

第11回ツアー・オブ・ジャパン	B2ポスター	4,500部
〃	A4チラシ	22,000部
〃	プログラム	20,000部
〃	東京ステージ交通規制チラシ	60,060部
〃	東京ステージ交通規制ポスター	285部
〃	東京ステージ駐車禁止ポスター	100部
〃	報告書	1,400部
第12回ツアー・オブ・ジャパン「次年度実施予定」		
	東京ステージ交通規制チラシ	1,000部
	(事前広報・所轄配布用)	

## 3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所：107-0052

東京都港区赤坂1-9-3

代表者名：会長 阿部 毅一郎(アベ キイチロウ)

担当部署：事業第1部

担当者名：部長 山本 耕治(ヤマモト コウジ)

電話番号：03-3586-3278

F a x：03-3586-9782

E-mail：jifukyo@jifu.jp

U R L：<http://www.bpaj.or.jp>